

「Franz Danzi：木管五重奏」 演奏のための考察 VI

Op68 no.3

"Franz Danzi Wind Instruments Quintet" Consideration for Performance VI Op.68 no.3

依田 嘉明 *Yoshiaki Yoda*

(音楽学部)

野牧 弘周 *Hirochika Nomaki*

(フルート奏者)

木管五重奏における各楽器のアンサンブルの組み合わせ

木管五重奏曲において、各楽器のアンサンブルは二重奏から五重奏まで26通りの組み合わせが可能であり、各楽器の独奏での使用を含めると31通りの組み合わせの使用が可能である。本考察では5種の楽器のアンサンブルをA、4種の楽器のアンサンブルをB、3種の楽器のアンサンブルをC、2種の楽器のアンサンブルをD、1種の楽器の使用をEとして表わす。また、3種のB・C・Dの楽器の組み合わせは分類分けをする。

*アンサンブルの種類の記事は〈表1〉、分類分けの表記は〈表2〉を参照

〈表1〉 各楽器のアンサンブル

5種類の楽器のアンサンブル	A
4種類の楽器のアンサンブル	B
3種類の楽器のアンサンブル	C
2種類の楽器のアンサンブル	D
1種類の楽器のアンサンブル	E

(表 2) アンサンブルの分類

アンサンブル使用 楽器数	分類					
5 種類	A	フルート	オーボエ	クラリネット	ホルン	ファゴット
4 種類	B1	フルート	オーボエ	クラリネット		ファゴット
	B2	フルート	オーボエ	クラリネット	ホルン	
	B3	フルート	オーボエ		ホルン	ファゴット
	B4	フルート		クラリネット	ホルン	ファゴット
	B5		オーボエ	クラリネット	ホルン	ファゴット
3 種類	C1	フルート	オーボエ	クラリネット		
	C2	フルート	オーボエ			ファゴット
	C3	フルート	オーボエ		ホルン	
	C4	フルート		クラリネット		ファゴット
	C5	フルート		クラリネット	ホルン	
	C6	フルート			ホルン	ファゴット
	C7		オーボエ	クラリネット		ファゴット
	C8		オーボエ	クラリネット	ホルン	
	C9		オーボエ		ホルン	ファゴット
	C10			クラリネット	ホルン	ファゴット
2 種類	D1	フルート	オーボエ			
	D2	フルート		クラリネット		
	D3	フルート				ファゴット
	D4	フルート			ホルン	
	D5		オーボエ	クラリネット		
	D6		オーボエ			ファゴット
	D7		オーボエ		ホルン	
	D8			クラリネット		ファゴット
	D9			クラリネット	ホルン	
	D10				ホルン	ファゴット
1 種類	E1	フルート				
	E2		オーボエ			
	E3			クラリネット		
	E4					ファゴット
	E5				ホルン	

Franz Danzi/ 木管五重奏曲 op.68 no.3

op.68 no.3 の楽章構成は第1楽章 Andante sostenuto – Allegretto、第2楽章 Andante、第3楽章 Menuetto、第4楽章 Allegro assai である。クラリネット in B、ホルンは in F の表記がされている。

op.68 no.3 の考察においても、op.56 no.1・op.56 no.2・op.56 no.3・op.67 no.1・op.67 no.2 に使用した分類記号を用いる。〈表3・4・5・6〉のデータは各パートの小節内での音価（音符）の存在を演奏小節としたデータである。このデータよりアンサンブルの編成と組み合わせ、またそれらの推移を考察する。小節内での拍間、数拍間内のアンサンブルとその組み合わせの推移は、楽章全体及び楽曲全体の取り扱いにおいて瞬時的なものとして判断し、本考察より除外する。

第1楽章 Andante sostenuto – Allegretto

・小節数：232小節

・使用アンサンブル：アンサンブル A・B・C・D

・アンサンブルの使用小節数

A：121小節、B：92小節、C：13小節、D：5小節

※158小節目が空白小節

第1楽章は232小節からなる。アンサンブル A・B・C・D の4種類を使用し、アンサンブル E の使用は無い。アンサンブルの編成と推移はアンサンブル A・B が基本となり、アンサンブル C、D にてアンサンブル上のコントラストが出ている。アンサンブル C は Andante sostenuto で2箇所、Allegretto で5箇所使用され、Andante sostenuto での冒頭部推移において、C → B → A、D → C → B → A とアンサンブルを徐々に大きくしているのが印象的であり、C → B → A の推移は Allegretto の冒頭部においても使用されている。アンサンブル D は Andante sostenuto で1箇所、Allegretto で4箇所使用され、その推移は Andante sostenuto で A → D → C、Allegretto で A → D → B が2箇所、B → D → B が2箇所となっている。

使用アンサンブル分類及び、その推移は〈表3〉より次の通りである。

・使用アンサンブル分類

アンサンブル A

アンサンブル B：B1、B2、B3、B4、B5

アンサンブル C : C1、C4、C8、C10

アンサンブル D : D1、D9、D10

・アンサンブル分類の推移

Andante sostenuto

C10 (2) → C8 (2) → B1 (2) → A (2) → D10 (1) → C10 (1) → B5 (1) → A (3)
→ B5 (2) → A (5) → B3 (3) → A (3) → B2 (1) → A (4)

Allegretto

C10 (2) → B4 (8) → B3 (1) → A (3) → C1 (2) → B1 (1) → B3 (5) → A (4) → C10
(2) → B5 (2) → A (2) → B5 (2) → A (6) → D9 (1) → B4 (1) → D9 (1) → B4 (3)
→ A (3) → B4 (1) → A (1) → B5 (2) → A (2) → B4 (4) → A (1) → B1 (4) → C4
(1) → A (5) → B5 (1) → A (5) → B4 (1) → A (15) → B4 (2) → C10 (1) → B5 (4)
→ A (1) → B3 (2) → A (5) → B5 (3) → A (7) → B4 (2) → A (1) → B3 (2) → A (2)
→ B3 (1) → 空白小節 (1) → B4 (8) → B3 (2) → A (2) → D1 (1) → B3 (1) → D1 (1)
→ B3 (3) → A (3) → B3 (1) → A (1) → B4 (2) → A (2) → B1 (2) → A (3) → B5
(4) → A (4) → B1 (1) → A (1) → B5 (1) → A (4) → B3 (2) → A (2) → B5 (1)
→ A (1) → B5 (1) → A (1) → B5 (1) → A (1) → B5 (1) → A (16)

※ () は連続使用小節、□内は同じアンサンブルでの分類変化

第 1 楽章で使用されているアンサンブル B・C・D は 12 種の使用分類に分かれる。

B 分類は全ての種類が使用され、B4 が最も多く使用されている。使用には偏りが見られ、B2 は Andante sostenuto に 1 小節のみの使用で、B3・B4・B5 が主になっている。また、楽章終結に向け B5 を多用している。B 分類の連続使用箇所は Allegretto において 3 箇所有り、B4 → B3、B1 → B3、B4 → B3 と四重奏の組合せで変化をつけている。

C 分類は C1・C4・C8・C10 の 4 種類を使用し、C2・C3・C5・C6・C7・C9 の使用は無い。最も多く使用されている C 分類は C10 であり、4 種類の C 分類の使用場所は Andante sostenuto 及び Allegretto 冒頭部に集まっている。C 分類の連続使用箇所は Andante sostenuto 曲頭で 1 箇所見られる。この変化は前述したアンサンブル C → B → A へのアンサンブル編成の推移の中での変化になっている。

D 分類は D1・D9・D10 を使用し、D2・D3・D4・D5・D6・D7・D8 の使用は無い。Andante sostenuto では二重奏～五重奏の編成に推移していくアンサンブル D → C → B → A 部分において D10 を使用し、Allegretto においては D9 → B4 を連続して変化させる場所、D1 → B3 を連続して変化させ、その使用方法は Andante sostenuto と Allegretto で異なっている。

〈表3〉第1楽章 Andante sostenuto - Allegretto

小節/楽譜	フルート	オーボエ	クラリネットinB	ホルンinF	ファゴット	分組
1						C10
2						C10
3						C9
4						C9
5						B1
6						B1
7						A
8						A
9						D10
10						C10
11						B5
12						A
13						A
14						A
15						B5
16						B5
17						A
18						A
19						A
20						A
21						A
22						B3
23						B3
24						B3
25						A
26						A
27						A
28						B2
29						A
30						A
31						A
32						A
33						C10
34						C10
35						B4
36						B4
37						B4
38						B4
39						B4
40						B4
41						B4
42						B4
43						B3
44						A
45						A
46						A
47						C1
48						C1
49						B1
50						B3
51						B3
52						B3
53						B3
54						B3
55						A
56						A
57						A
58						A
59						C10
60						C10
61						B5
62						B5
63						A
64						A
65						B5
66						B5
67						A
68						A
69						A
70						A
71						A
72						A
73						D9
74						B4
75						D9
76						B4
77						B4
78						B4
79						A
80						A
81						A
82						B4
83						A
84						B5
85						B5
86						A
87						A
88						B4
89						B4
90						B4
91						B4
92						A
93						B1
94						B1
95						B1
96						B1
97						C4
98						A
99						A
100						A
101						A
102						A
103						B5
104						A
105						A
106						A
107						A
108						A
109						B4
110						A
111						A
112						A
113						A
114						A
115						A
116						A
117						A
118						A
119						A
120						A
121						A
122						A
123						A
124						A
125						B4
126						B4
127						C10
128						B5
129						B5
130						B5
131						B5
132						A
133						B3
134						B3
135						A
136						A
137						A
138						A
139						A
140						B5
141						B5
142						B5
143						A
144						A
145						A
146						A
147						A
148						A
149						A
150						B4
151						B4
152						A
153						B5
154						B3
155						A
156						A
157						B3
158						A
159						B4
160						B4
161						B4
162						B4
163						B4
164						B4
165						B4
166						B4
167						B3
168						B3
169						A
170						A
171						D1
172						B3
173						D1
174						B3
175						B3
176						B3
177						A
178						A
179						A
180						B3
181						A
182						B4
183						B4
184						A
185						A
186						A
187						B1
188						B1
189						A
190						A
191						B5
192						B5
193						B5
194						B5
195						A
196						A
197						A
198						A
199						B1
200						A
201						B5
202						A
203						A
204						A
205						A
206						B3
207						B3
208						A
209						A
210						B5
211						A
212						B5
213						A
214						B5
215						A
216						B5
217						A
218						A
219						A
220						A
221						A
222						A
223						A
224						A
225						A
226						A
227						A
228						A
229						A
230						A
231						A
232						A

第2楽章 Andante

・小節数：不完全小節 + 82小節

・使用アンサンブル：アンサンブル A・B・C・E

・アンサンブルの使用小節数

A：48小節、B：小節14、C：20小節、E：不完全小節

第2楽章は不完全小節 + 82小節からなり、アンサンブル A・B・C・E の4種類使用し、アンサンブル D の使用は無い。この楽章はアンサンブル C が B よりも使用数が多いのが特徴である。アンサンブルの編成と推移はアンサンブル A が B や C を挟み込むような形で繰り返している。楽章の始まりはクラリネットの独奏であるアンサンブル E から推移していく。

使用アンサンブル分類及び、その推移は〈表4〉より次の通りである。

・使用アンサンブル分類

アンサンブル A

アンサンブル B：B1、B4、B5

アンサンブル C：C6、C10

アンサンブル E：E3

・アンサンブル分類の推移

E3 (不完全小節) → C10 (7) → A (7) → B4 (3) → A (1) → B5 (3) → A (4) → B5 (1) → A (6) → B1 (4) → C10 (7) → A (7) → C10 (1) → A (1) → B1 (1) → A (2) → B1 (1) → A (8) → C6 (2) → B4 (1) → C10 (3) → A (12)

※ () は連続使用小節、□内は同じアンサンブルでの分類変化

第2楽章で使用されているアンサンブル B・C・E は6種の使用分類に分かれる。

B分類は B1・B4・B5 を一様に使用し B2・B3 の使用は無く、C分類は C6・C10 の2種類を使用し、C1・C2・C3・C4・C5・C7・C8・C9 の使用は無い。B分類 C分類ともに、分類の連続使用箇所は無く、明確な A とのコントラストになっている。

〈表4〉 第2楽章 Andante

小節/楽種	フルート	オーボエ	クラリネット	ホルン	ファゴット	分類
不完全小節						E3
1						C10
2						C10
3						C10
4						C10
5						C10
6						C10
7						C10
8						A
9						A
10						A
11						A
12						A
13						A
14						A
15						B4
16						B4
17						A
18						A
19						B5
20						B5
21						B5
22						A
23						A
24						A
25						A
26						B5
27						A
28						A
29						A
30						A
31						A
32						A
33						B1
34						B1
35						B1
36						B1
37						C10
38						C10
39						C10
40						C10
41						C10
42						C10
43						C10
44						A
45						A
46						A
47						A
48						A
49						A
50						A
51						C10
52						A
53						B1
54						A
55						A
56						B1
57						A
58						A
59						A
60						A
61						A
62						A
63						A
64						A
65						C6
66						C6
67						B4
68						C10
69						C10
70						C10
71						A
72						A
73						A
74						A
75						A
76						A
77						A
78						A
79						A
80						A
81						A
82						A

第3楽章 Menuetto

・小節数：不完全小節 + 114 小節

・使用アンサンブル：アンサンブル A・B・C・E

・アンサンブルの使用小節数

A：37小節、B：57小節、C：6小節、E：不完全小節 + 14小節

第3楽章は不完全小節 + 114小節からなる。アンサンブル A・B・C・Eの4種類を使用し、アンサンブル Dの使用は無い。アンサンブルの使用数では他の楽章と異なりアンサンブル Bを最も多く使用している。アンサンブルの編成と推移はアンサンブル AとBとの繰り返しを基本とし、その間にアンサンブル C・Eを挿入して大きなコントラストをつけている。オーボエの独奏であるアンサンブル Eとアンサンブル A・B・Cとのコントラストが印象的になっている。

使用アンサンブル分類及び、その推移は〈表5〉より次の通りである。

・使用アンサンブル分類

アンサンブル A

アンサンブル B：B1、B2、B3、B4、B5

アンサンブル C：C1、C4、C6、C8

アンサンブル E : E2、E5

・アンサンブル分類の推移

Menuetto

E2 (不完全小節 + 3) → B5 (2) → B1 (1) → A (2) → E2 (3) → B5 (1) → A (4)
→ B5 (1) → A (2) → B1 (3) → B3 (4) → A (2) → E2 (3) → B5 (2) → B1 (1) → A
(2) → C1 (3) → B1 (5) → B4 (1) → A (1) → E2 (2) → C8 (1) → B5 (1) → A (10)

Trio

B5 (9) → E2 (1) → B5 (10) → E5 (1) → A (8) → B1 (1) → A (1) → E2 (1) → B5
(10) → B1 (1) → C4 (1) → A (1) → B2 (1) → A (1) → C6 (1) → A (1) → B2 (2)
→ B1 (1) → A (2)

※ () は連続使用小節、□内は同じアンサンブルでの分類変化

第 3 楽章で使用されているアンサンブル B・C・E は 11 種類に分かれる。

B 分類は全ての種類が使用され、B5 が最も多く使用されている。使用には偏りが見られ、B2 は Trio でのみ使用され、B3・B4 は Trio では使用されていない。B 分類の連続使用箇所は 6 箇所あり、B5 → B1 の 3 箇所と B1 → B3、B1 → B4、B2 → B1 で三重奏の組合せに変化をつけている。

C 分類は C1・C4・C6・C8 が使用され、C2・C3・C5・C7・C9・C10 の使用は無い。C 分類は明確に使用箇所が分かれ、C4 と C6 は Trio でのみ使用され、C1・C8 は Trio で使用は無い。

E 分類は E2 を不完全小節 + 13 小節、E5 を Trio で 1 小節使用し、E1・E3・E4 の使用は無い。

〈表5〉 第3楽章 Menuett / Allegro

小節/楽章	フルート	オーボエ	クラリネット	ホルン	ファゴット	分類
1		○				E2
2		○				E2
3		○				E2
4		○	○	○	○	B5
5		○	○	○	○	B5
6	○	○	○	○	○	B1
7	○	○	○	○	○	A
8	○	○	○	○	○	A
9		○				E2
10		○				E2
11		○				E2
12		○	○	○	○	B5
13	○	○	○	○	○	A
14	○	○	○	○	○	A
15	○	○	○	○	○	A
16	○	○	○	○	○	A
17	○	○	○	○	○	B5
18	○	○	○	○	○	A
19	○	○	○	○	○	A
20	○	○	○	○	○	B1
21	○	○	○	○	○	B1
22	○	○	○	○	○	B1
23	○	○	○	○	○	B3
24	○	○	○	○	○	B3
25	○	○	○	○	○	B3
26	○	○	○	○	○	B3
27	○	○	○	○	○	A
28	○	○	○	○	○	A
29		○				E2
30		○				E2
31		○				E2
32		○	○	○	○	B5
33		○	○	○	○	B5
34	○	○	○	○	○	B1
35	○	○	○	○	○	A
36	○	○	○	○	○	A
37	○	○	○	○	○	C1
38	○	○	○	○	○	C1
39	○	○	○	○	○	C1
40	○	○	○	○	○	B1
41	○	○	○	○	○	B1
42	○	○	○	○	○	B1
43	○	○	○	○	○	B1
44	○	○	○	○	○	B1
45	○	○	○	○	○	B4
46	○	○	○	○	○	A
47	○	○	○	○	○	E2
48		○				E2
49		○	○	○	○	C8
50		○	○	○	○	B5
51	○	○	○	○	○	A
52	○	○	○	○	○	A
53	○	○	○	○	○	A
54	○	○	○	○	○	A
55	○	○	○	○	○	A
56	○	○	○	○	○	A
57	○	○	○	○	○	A
58	○	○	○	○	○	A
59	○	○	○	○	○	A
60	○	○	○	○	○	A

Trio/meno mosso

小節/楽章	フルート	オーボエ	クラリネット	ホルン	ファゴット	分類
61		○	○	○	○	B5
62		○	○	○	○	B5
63		○	○	○	○	B5
64		○	○	○	○	B5
65		○	○	○	○	B5
66		○	○	○	○	B5
67		○	○	○	○	B5
68		○	○	○	○	B5
69		○	○	○	○	B5
70		○	○	○	○	E2
71		○	○	○	○	B5
72		○	○	○	○	B5
73		○	○	○	○	B5
74		○	○	○	○	B5
75		○	○	○	○	B5
76		○	○	○	○	B5
77		○	○	○	○	B5
78		○	○	○	○	B5
79		○	○	○	○	B5
80		○	○	○	○	B5
81		○	○	○	○	E5
82	○	○	○	○	○	A
83	○	○	○	○	○	A
84	○	○	○	○	○	A
85	○	○	○	○	○	A
86	○	○	○	○	○	A
87	○	○	○	○	○	A
88	○	○	○	○	○	A
89	○	○	○	○	○	A
90	○	○	○	○	○	B1
91	○	○	○	○	○	A
92		○				E2
93		○	○	○	○	B5
94		○	○	○	○	B5
95		○	○	○	○	B5
96		○	○	○	○	B5
97		○	○	○	○	B5
98		○	○	○	○	B5
99		○	○	○	○	B5
100		○	○	○	○	B5
101		○	○	○	○	B5
102		○	○	○	○	B5
103	○	○	○	○	○	B1
104	○	○	○	○	○	C4
105	○	○	○	○	○	A
106	○	○	○	○	○	B2
107	○	○	○	○	○	A
108	○	○	○	○	○	C8
109	○	○	○	○	○	A
110	○	○	○	○	○	B2
111	○	○	○	○	○	B2
112	○	○	○	○	○	B1
113	○	○	○	○	○	A
114	○	○	○	○	○	A

第4楽章 Allegro assai

・小節数：202小節

・使用アンサンブル：アンサンブル A・B・C・D・E

・アンサンブルの使用小節数

A：68小節、B：99小節、C：24小節、D：8小節、E：1小節

※ 87・88小節が空白小節

第4楽章は202小節からなり、全種類のアンサンブルを使用している。アンサンブルの編成と推移はアンサンブルAとBの繰り返しを基本とし、その繰り返しの間や連続するBの間にC・D及びクラリネットの独奏であるEが挿入され、豊かなコントラストが浮かび上がっている。

使用アンサンブル分類及び、その推移は〈表5〉より次の通りである。

・使用アンサンブル分類

アンサンブル A

アンサンブル B : B1、B2、B3、B4、B5

アンサンブル C : C1、C2、C6、C7、C8、C9、C10

アンサンブル D : D7、D10

アンサンブル E : E2

・アンサンブル分類の推移

B4 (4) → C6 (1) → B4 (3) → C10 (1) → B4 (15) → B5 (1) → A (4) → C2 (2) → B1 (1) → A (6) → C9 (1) → B5 (4) → D7 (1) → D10 (7) → C10 (1) → B2 (8) → A (3) → B4 (1) → B1 (1) → B3 (1) → A (2) → B1 (1) → B3 (1) → A (7) → C10 (3) → A (1) → C1 (3) → B2 (1) → C8 (1) → 空白 2 小節 → C9 (2) → B5 (2) → C9 (2) → B5 (2) → B3 (8) → A (1) → B4 (6) → A (1) → B5 (1) → A (15) → B1 (1) → B3 (2) → B4 (2) → A (4) → C2 (2) → A (2) → B5 (4) → E2 (1) → B5 (7) → A (1) → B3 (8) → B1 (1) → B3 (1) → A (2) → B1 (1) → B3 (1) → A (7) → C7 (3) → A (1) → B2 (3) → A (1) → B4 (2) → A (8) → C2 (2) → B3 (5) → A (2)

※ () は連続使用小節、□内は同じアンサンブルでの分類変化

第 4 楽章で使用されているアンサンブル B・C・D・E は 15 種類に分かれ、全楽章で最も多い種類で成り立っている。

B 分類は全ての種類が使用され、B4 が最も多く使用されている。使用には偏りが見られ、B1 の使用は 6 小節と少なく、最も多く使用されている B4 は楽章後半部より著しく使用小節数が減っている。B 分類の連続使用は 7 箇所有り、B4 → B5、B1 → B3 が 2 箇所、B5 → B3、B4 → B1 → B3、B1 → B3 → B4、B3 → B1 → B3、となっている。この 7 箇所全てにおいて、B 分類の連続後は A に推移している。

C 分類は C1・C2・C6・C7・C8・C9・C10 の 7 種類を使用し、C3・C4・C5 の使用は無い。全楽章を通して最も多い種類の C 分類を使用している。C 分類からの推移は A への推移が 3 箇所、他は全て B 分類へ推移している。

D 分類は D7・D10 の 2 種類を使用し、D1・D2・D3・D4・D5・D6・D8・D9 の使用は無い。D 分類の連続使用は 1 箇所有り、D7 → D10 に変化している。

E 分類は E2 を使用し、E1、E3、E4、E5 の使用は無い。

〈表6〉 第4楽章 Allegro assai

小節/楽譜	フルート	オーボエ	クラリネット	サックス	ファゴット	分類
1	○		○	○	○	B4
2	○		○	○	○	B4
3	○		○	○	○	B4
4	○		○	○	○	B4
5	○		○	○	○	C6
6	○		○	○	○	B4
7	○		○	○	○	B4
8	○		○	○	○	B4
9	○		○	○	○	C10
10	○		○	○	○	B4
11	○		○	○	○	B4
12	○		○	○	○	B4
13	○		○	○	○	B4
14	○		○	○	○	B4
15	○		○	○	○	B4
16	○		○	○	○	B4
17	○		○	○	○	B4
18	○		○	○	○	B4
19	○		○	○	○	B4
20	○		○	○	○	B4
21	○		○	○	○	B4
22	○		○	○	○	B4
23	○		○	○	○	B4
24	○		○	○	○	B4
25	○	○	○	○	○	B5
26	○	○	○	○	○	A
27	○	○	○	○	○	A
28	○	○	○	○	○	A
29	○	○	○	○	○	A
30	○	○	○	○	○	C2
31	○	○	○	○	○	C2
32	○	○	○	○	○	B1
33	○	○	○	○	○	A
34	○	○	○	○	○	A
35	○	○	○	○	○	A
36	○	○	○	○	○	A
37	○	○	○	○	○	A
38	○	○	○	○	○	A
39	○	○	○	○	○	C9
40	○	○	○	○	○	B5
41	○	○	○	○	○	B5
42	○	○	○	○	○	B5
43	○	○	○	○	○	B5
44	○	○	○	○	○	D7
45	○	○	○	○	○	D10
46	○	○	○	○	○	D10
47	○	○	○	○	○	D10
48	○	○	○	○	○	D10
49	○	○	○	○	○	D10
50	○	○	○	○	○	D10
51	○	○	○	○	○	D10
52	○	○	○	○	○	C10
53	○	○	○	○	○	B2
54	○	○	○	○	○	B2
55	○	○	○	○	○	B2
56	○	○	○	○	○	B2
57	○	○	○	○	○	B2
58	○	○	○	○	○	B2
59	○	○	○	○	○	B2
60	○	○	○	○	○	B2
61	○	○	○	○	○	A
62	○	○	○	○	○	A
63	○	○	○	○	○	A
64	○	○	○	○	○	B4
65	○	○	○	○	○	B1
66	○	○	○	○	○	B3
67	○	○	○	○	○	A
68	○	○	○	○	○	A
69	○	○	○	○	○	B1
70	○	○	○	○	○	B3
71	○	○	○	○	○	A
72	○	○	○	○	○	A
73	○	○	○	○	○	A
74	○	○	○	○	○	A
75	○	○	○	○	○	A
76	○	○	○	○	○	A
77	○	○	○	○	○	A
78	○	○	○	○	○	C10
79	○	○	○	○	○	C10
80	○	○	○	○	○	C10
81	○	○	○	○	○	A
82	○	○	○	○	○	A
83	○	○	○	○	○	C1
84	○	○	○	○	○	C1
85	○	○	○	○	○	B2
86	○	○	○	○	○	C8
87	○	○	○	○	○	
88	○	○	○	○	○	
89	○	○	○	○	○	C9
90	○	○	○	○	○	C9
91	○	○	○	○	○	B5
92	○	○	○	○	○	B5
93	○	○	○	○	○	C9
94	○	○	○	○	○	C9
95	○	○	○	○	○	B5
96	○	○	○	○	○	B5
97	○	○	○	○	○	B3
98	○	○	○	○	○	B3
99	○	○	○	○	○	B3
100	○	○	○	○	○	B3
101	○	○	○	○	○	B3
102	○	○	○	○	○	B3
103	○	○	○	○	○	B3
104	○	○	○	○	○	B3
105	○	○	○	○	○	A
106	○	○	○	○	○	B4
107	○	○	○	○	○	B4
108	○	○	○	○	○	B4
109	○	○	○	○	○	B4
110	○	○	○	○	○	B4
111	○	○	○	○	○	B4
112	○	○	○	○	○	A

小節/楽譜	フルート	オーボエ	クラリネット	サックス	ファゴット	分類
113	○	○	○	○	○	B5
114	○	○	○	○	○	A
115	○	○	○	○	○	A
116	○	○	○	○	○	A
117	○	○	○	○	○	A
118	○	○	○	○	○	A
119	○	○	○	○	○	A
120	○	○	○	○	○	A
121	○	○	○	○	○	A
122	○	○	○	○	○	A
123	○	○	○	○	○	A
124	○	○	○	○	○	A
125	○	○	○	○	○	A
126	○	○	○	○	○	A
127	○	○	○	○	○	A
128	○	○	○	○	○	A
129	○	○	○	○	○	B1
130	○	○	○	○	○	B3
131	○	○	○	○	○	B3
132	○	○	○	○	○	B4
133	○	○	○	○	○	B4
134	○	○	○	○	○	A
135	○	○	○	○	○	A
136	○	○	○	○	○	A
137	○	○	○	○	○	A
138	○	○	○	○	○	C2
139	○	○	○	○	○	C2
140	○	○	○	○	○	A
141	○	○	○	○	○	A
142	○	○	○	○	○	B5
143	○	○	○	○	○	B5
144	○	○	○	○	○	B5
145	○	○	○	○	○	B5
146	○	○	○	○	○	B5
147	○	○	○	○	○	B5
148	○	○	○	○	○	B5
149	○	○	○	○	○	B5
150	○	○	○	○	○	B5
151	○	○	○	○	○	B5
152	○	○	○	○	○	B5
153	○	○	○	○	○	B5
154	○	○	○	○	○	A
155	○	○	○	○	○	B3
156	○	○	○	○	○	B3
157	○	○	○	○	○	B3
158	○	○	○	○	○	B3
159	○	○	○	○	○	B3
160	○	○	○	○	○	B3
161	○	○	○	○	○	B3
162	○	○	○	○	○	B3
163	○	○	○	○	○	B1
164	○	○	○	○	○	B3
165	○	○	○	○	○	A
166	○	○	○	○	○	A
167	○	○	○	○	○	B1
168	○	○	○	○	○	B3
169	○	○	○	○	○	A
170	○	○	○	○	○	A
171	○	○	○	○	○	A
172	○	○	○	○	○	A
173	○	○	○	○	○	A
174	○	○	○	○	○	A
175	○	○	○	○	○	A
176	○	○	○	○	○	C7
177	○	○	○	○	○	C7
178	○	○	○	○	○	C7
179	○	○	○	○	○	A
180	○	○	○	○	○	B2
181	○	○	○	○	○	B2
182	○	○	○	○	○	B2
183	○	○	○	○	○	A
184	○	○	○	○	○	B4
185	○	○	○	○	○	B4
186	○	○	○	○	○	A
187	○	○	○	○	○	A
188	○	○	○	○	○	A
189	○	○	○	○	○	A
190	○	○	○	○	○	A
191	○	○	○	○	○	A
192	○	○	○	○	○	A
193	○	○	○	○	○	A
194	○	○	○	○	○	C2
195	○	○	○	○	○	C2
196	○	○	○	○	○	B3
197	○	○	○	○	○	B3
198	○	○	○	○	○	B3
199	○	○	○	○	○	B3
200	○	○	○	○	○	B3
201	○	○	○	○	○	A
202	○	○	○	○	○	A

op.68 no.3 全楽章をとおして

全楽章をとおしてアンサンブルは5種類の楽器の組合せであるアンサンブルAと4種類の楽器の組合せであるアンサンブルBが多く使用されている。第1楽章はアンサンブルA・B・C・Dを使用し、第2・3楽章はアンサンブルA・B・C・Eの使用、第4楽章は全種類のアンサンブルを使用し第1・4楽章と第2・3楽章との変化が見られる。アンサンブル分類の使用では、第1楽章では12種類+A、第2楽章では6種類+A、第3楽章では11種類+A、第4楽章では15種類+Aと各楽章と分類使用数が異なり、楽器の編成は変化に富んでいる。op.68 no.3 全楽章をとおして使用されていないアンサンブル分類は、C分類ではC3・C5の2種類、D分類ではD2・D3・D4・D5・D6・D8の6種類、E分類ではE1・E4の2種類であり、二重奏は限定された使用で少なく、使用小節数及びアンサンブルの推移から五重奏・四重奏部分の繰り返しの中で三重奏を使用している。二重奏部分は第1・4楽章に、独奏部分は第2・3・4楽章に使用し、五・四重奏部分の繰り返しと三重奏部分の間に挿入されアンサンブル上のコントラストが浮かび上がっている。

※名古屋芸術大学研究紀要第31巻「Franz Danzi:木管五重奏」演奏のための考察Ⅳ Op.67 no.2の訂正:(表3・4・5・6)において、ホルンin Dは×→ホルンin Eが○。使用楽譜出版社はInternational Music Company。

引用・参考文献

- ・著:依田 嘉明・野牧 弘周/名古屋芸術大学研究紀要 第26巻
「Franz Danzi:木管五重奏」演奏のための考察Ⅰ Op.56 no.1
- ・著:依田 嘉明・野牧 弘周/名古屋芸術大学研究紀要 第27巻
「Franz Danzi:木管五重奏」演奏のための考察Ⅱ Op.56 no.2
- ・著:依田 嘉明・野牧 弘周/名古屋芸術大学研究紀要 第28巻
「Franz Danzi:木管五重奏」演奏のための考察Ⅲ Op.56 no.3
- ・著:依田 嘉明・野牧 弘周/名古屋芸術大学研究紀要 第29巻
「Franz Danzi:木管五重奏」演奏のための考察Ⅳ Op.67 no.1
- ・著:依田 嘉明・野牧 弘周/名古屋芸術大学研究紀要 第31巻
「Franz Danzi:木管五重奏」演奏のための考察Ⅳ Op.67 no.2
- ・The New GROVE Dictionary of Music and Musicians

使用楽譜出版社

- ・Musica Rara
- ・Breitkopf & Härtel